＼ FAQ ／

よくあるご質問

◇ エントリーについて ◇

Q1：募集から選考の流れはどのようになっていますか

【新卒採用】

エントリー
↓
書類選考(第一次選考)
↓
[7月上旬]　筆記試験(第二次選考)
↓
[8～9月]　一次面接(第三次選考)
↓
[9～10月]　役員面接(第三次選考)

【社会人経験者（中途）採用】

エントリー
↓
書類選考(第一次選考)
↓
一次面接(第二次選考)
↓
役員面接(第三次選考)

Q2：応募資格において学部に制限がありますか。

学部・学科は問いません。文系・理系問わずさまざまな方が活躍しています。

◇ 入構後について ◇

Q3：入構後の配属先について

全国に9箇所ある主管支所に配属されることが多いです。

所在地一覧 ： 所在地一覧/独立行政法人自動車事故対策機構 ナスバ（交通事故）

めざすのは、
自動車事故ゼロの社会。

Q4：異動・出向について

異動については、平均的には2～3年が一つの目安です。
採用、昇任時等を除き、生活の本拠を置く主管支所管内の
人事異動を原則としています。
また、国土交通省、地方運輸局等への出向もありますので、
様々な業務を経験することができます。

[過去の出向先]
・国土交通省 大臣官房 運輸安全監理官室
・国土交通省 物流・自動車局 安全政策課 保障制度参事官室
・地方運輸局、運輸支局　など

Q5：福利厚生の制度について

国家公務員の制度に準拠しております。

[休日・休暇]
〇休 日
土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末・年始（12月29日～1月3日）
※地方機関(一部の支所を除く)においては、第1、第3土曜日開業
（土曜開業日の翌月曜日は休日）

〇年次有給休暇
15日（4月期採用）翌年から20日（次年へ繰越制度あり 最高40日）
年休も取得しやすい環境であり、ワーク・ライフ・バランスの実現
にも取り組んでいます。

〇時間外労働
新規採用職員の所定外労働時間の平均は約8時間/月となっています。
平日もプライベートを大切にできる組織です。

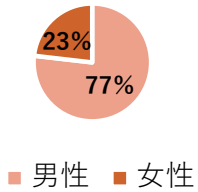
[女性も働きやすい環境]

性差による業務の区別や評価方法の差はもちろんなく、職員のうち
女性の割合が約２３％(令和7年度現在)となっております。特別休暇
も充実しており、実際に育児短時間勤務制度を利用している職員も
多数おります。

[資格支援制度・研修制度の充実化]

業務に必要となる資格取得に対する費用負担支援制度もございます。

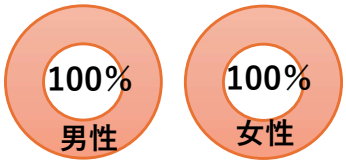
職員の男女比
令和７年１月現在



月平均所定外労働時間
令和5・6年度採用者(スタッフ)

8.12時間

育児休業取得率
2023年度



Q6：入構後の一般的なキャリアパスについて

スタッフ(係員)　8～9年　→　チーフ(係長)　10年　→

アシスタントマネージャー(課長補佐)　→　マネージャー(課長)

→　支所長　→　主管支所長・部長　→　審議役　…

Q7：人材育成方針はありますか。またどんな内容ですか。

ナスバでは人材育成方針を定め、個々の資質を生かした人材育成に力を入れております。　内容としては、職員がやりがいを持って、安心して仕事ができるようナスバが求める人材を明確にするとともに、人事配置の基本的な考え方や研修の充実、勤務評価制度や福利厚生などを定めております。

Q8：入構後にまずやる仕事

入構後は、採用職員研修で基本的な知識を習得していただいてから実務に入っていただきます。
ナスバには、被害者援護業務、安全指導業務、自動車アセスメント業務、総務・経理業務等がありますので、配置部署によって業務内容は異なりますが、基本的には先輩や上司の指導の下で受付や案内、電話対応等からスタートしていただきます。

Q9：どんな研修がありますか。

ナスバは人材育成を重視しており研修が充実しています。
Ｅラーニングでの研修を含めると40種類以上の研修等があります。
また、必要に応じて外部の研修などにも参加していただきます。
新たに採用になった職員は、入社後に東京のナスバ本部において実務や社会人としての基礎知識を学ぶ採用職員研修を受講していただきます。
その後は担当する業務等に応じた研修や昇任のタイミング、資格取得のための研修等を順次受けていただきます。

Q10：入構後どんな資格を取得できますか

試験勉強のための、
お休みも取得しやすい環境です！

外部資格の参考：産業カウンセラー
運行管理者（貨物・旅客）
ISO9001審査員補
介護職員初任者研修(旧ヘルパー２級)
飲酒運転防止インストラクター　など

内部資格の参考：カウンセラーⅠ種・Ⅱ種
第一種・第二種講師
セミナー講師
第Ⅰ種・第Ⅱ種コンサルタント
コーディネーターⅠ種・Ⅱ種　など

Q11：入構までにやっておいた方がいいことありますか

仕事に必要な知識は仕事の中で学ぶことができます。
だからこそ、学生生活でしかできないことを沢山経験して、
充実した学生生活を送ってください！

めざすのは、
自動車事故ゼロの社会。